

郡上東氏800年 古今伝授50年祭

令和4年のメイン事業
「笹川の神楽」の上演

東氏のふるさとである千葉県香取郡東庄町の「笹川神楽保存会」のみなさんが、東氏が勧請した明建神社で「笹川の神楽」(千葉県無形民俗文化財)を奉納上演します。

この神楽は、毎年4月に東庄町の諏訪神社で奉納されています。鎌倉時代初めの建久2年(1191年)に千葉成胤、源頼朝ら源氏一門の武運長久を祈願して千座神楽を奏したのが始まりとされます。その後、関東に出陣中の東常縁の願いにより、信濃国諏訪大明神の神楽が取り入れられ、2つの神楽が融合した現在のかたちになったといわれています。

「笹川の神楽」奉納

日 10月9日(日) 正午
場 明建神社(大和町牧)

日 10月9日(日) 10時
場 同フィールドミュージアム
短歌の里交流館 よぶこどり

定 50人程度(要申込み・先着順)
【講師】東庄町郷土史研究会

日 9月23日(金) 〃
令和5年3月31日(金)
場 古今伝授の里フィールドミュージアム和歌文学館
費 大人 320円
小中学生 110円

フォーラム

小林峯夫の世界

「宝暦挽歌」から

遺歌集「途上」まで

日 9月24日(土)

午後1時30分

場 同フィールドミュージアム

短歌の里交流館 よぶこどり

内 【講師】島田修三・小池秀男・後藤すみ子・広坂早苗・小塩卓哉各氏

卓哉各氏

50人程度(要申込み・先着順)

同フィールドミュージアム

88・3244

申 定

☎ 88・3244

✉ kokin@city.gujo.lg.jp



▲「笹川の神楽」の一部「素盞鳴命」の場面

企画展・フォーラム
「小林峯夫の世界」

「郡上東氏800年・古今伝授550年祭」は、中世の領主・東氏一族が「承久の乱」の戦功で当地を与えられて800年、東常縁が連歌師宗祇に対して初度の古今伝授をして550年という二つの節目が重なった2021年から開催しており、東氏の歴史や文化遺産を地域振興につなげることが目標です。

歴史的な節目を記念する様々な事業について紹介いたします。

和良町出身で、郡上高校の教員をつとめられた小林峯夫さんは、昭和・平成時代の岐阜県の短歌界を牽引した一人です。郡上一揆をモチーフにした短歌作品「宝暦挽歌」は、全国の歌人に大きな影響を与えた名作です。この小林さんの旧蔵資料を中心とした企画展と、同氏の足

連続講座「武士と和歌」

武士にとっての和歌の価値を考えます。第1回「和歌10首の物語」は6月に終了しました。第2回は、武家政権が成立した平安時代末から鎌倉時代初期に遡って考えます。

日 11月3日(祝) 13時30分

場 同フィールドミュージアム

短歌の里交流館 よぶこどり

内 第2回「武士にとっての和歌はどのようなものだったか」

【講師】小川剛生氏

(慶応義塾大学教授)

定 50人程度(要申込み・先着順)

東庄町などの交流

東氏は、鎌倉時代初めに千葉常胤の六男胤頼が、下総国香取郡東庄(現在の千葉県香取郡東庄町や香取市の一部他)を与えられ、「東」と名乗ったことに始まります。

千葉常胤ら千葉氏一族が本拠を構えた千葉市では、全国に点在する千葉一族ゆかりの市町をつなぐ「千葉氏サミット」を開催し、連携強化を図っています。

こうしたことから、今年度は、東庄町・香取市・千葉市への視察研修を実施します。東氏のふるさとを知ることが、東氏の理

解を深めることにもつながります。

日 11月20日(日)〜22日(火)

内 千葉神社(妙見本宮)・千葉市立郷土博物館・東大社・木造妙見菩薩立像・森山城・佐原の古い町並み・香取神宮などを見学します。現地では、郷土史研究会や学芸員のみなさんにガイドをしていただきます。※行程中11月21日(月)は東庄町役場で行われる、郡上市の木の記念植樹式に参加します。

費 42,000円

※2泊分の宿泊代・入館料を含む1日目昼・夕食、2日目3食、3日目朝・昼食付き
添乗員1名同行

定 23名程度(最少催行人数10名、先着順)

申 (株)ベイホックトラベル

白鳥営業所

☎ 0575・82・5669

平日・午前10時〜午後5時
※本視察についてのお問い合わせは(株)ベイホックトラベル宛にお願いします。

短歌作歌・朗詠教室

今年度も市内の6校で短歌を作る教室、短歌を声に出して表現する教室を開催しています。表現力を磨くことは、これから

の社会を生き抜くうえでも大切なツールです。



高鷲中学校での短歌づくり教室の様子(講師＝後藤左右吉氏・黒田一夫氏)

篠脇城跡発掘調査 出土品展示会

東氏の居城・篠脇城跡の発掘調査の結果を、秋頃から東氏記念館で展示する予定です。詳細が分かり次第お知らせします。

認定商品の継続

「郡上東氏800年・古今伝授550年祭認定商品」は、18種類になりました。千葉県東庄町や香取市の商品もあります。商品は同フィールドミュージアム

や一部の道の駅などで購入できます。左のマークが目印です。



創作オペレッタ 「東氏ものがたり」

東常縁をモデルにした創作オペレッタ「東氏ものがたり」を制作中です。創作オペレッタとは音楽劇のことです。シナリオ、楽曲、絵コンテなどが完成しました。現在は、衣装制作、映像制作などを進めています。

また、出演する大和地域の4つの小学校の児童の練習が始まりました。演劇のプロ「文学座」による指導など、今後、より本格的な練習が重ねられる予定です。令和5年秋の上演を目指しています。

創作オペレッタを通じて、子どもたちが地域の歴史や文化を学ぶとともに、表現力を磨くことを目指します。

郡上東氏800年・古今伝授550年祭は令和6年度末まで実施する予定です。ぜひ、中世の郡上を知りきっかけにしてください。

問 同フィールドミュージアム
88・3244

✉ kokin@city.guj.o.lg.jp

【留意事項】

新型コロナウイルス感染症予防として、開催内容を変更または中止する場合があります。その場合は同フィールドミュージアムホームページでお知らせします。



古今伝授の里
フィールドミュージアム
ホームページ

※事業の一部は、岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を受けています。